



Re:nuuno 中間発表

古木千里 栗野友結 井上わかば 笠原七海

リサイクルボックスがあっても ほとんどの人が入れない



- 意識が高い人だけがやるイメージがある
- リサイクルへのハードルが高い
- 「服をリサイクルする」という習慣がそもそもない



なぜ人は服をリサイクルしないのか？



- 1リサイクル行動が“特別なこと”だと思われる
- 面倒、時間がかかるという印象
- 正しいリサイクル方法知らない
- 自分一人では意味がないと思ってしまう



まずは「小さな行動」から始められる 仕組みをつくる



- 一人で気軽にできるリサイクルのきっかけを提供
- 難しい工程をなくし、手軽さ・楽しさを優先
- 行動のハードルを下げて、習慣化につなげる

小さな一歩が、大きなリサイクルの輪につながる。



- 個人のリサイクル意識が自然と高まる
- 服の再利用が“当たり前”になる
- 最終的に、地域全体でリサイクルを進められる環境へ



制作1 ナップサック作り

材料：デニム2色、ボーダーシャツ、糸

ポイント：すべて手縫いでOK



制作2 ニット帽づくり

材料：白ニット、糸

ポイント：手縫いだけ



SNSを活用して、リサイクル文化を広げる。



- Instagram・TikTokで作り方を動画で紹介
- 誰でも真似できるレベルの簡単さをアピール
- バズらせて、多くの人目に届くようにする



今後の予定





@RENUUNO



「できることから始めるリサイクル」
— 小さな行動が、社会を変える。 —